

保健体育

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	体育	単位数	2単位
学 科	農業科	学 年	1年
教科書	現代高等保健体育（大修館）	副教材	なし

学習目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり身に付ける。

評価

評価の観点	評 価 規 準	評価方法
知識・技能	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	ルールテスト 審判の実技 スキルテスト 等
思考・判断・表現	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	グループ練習 準備・片付け状況 等
主体的に学習に取り組む態度	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する。一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。	出席状況 ゲームの観察 準備・片付け状況等

	学 習 項 目	学習内容・学習のねらい
1 学 期	4月 1 体づくり運動	・ラジオ体操、補強運動や集団走を正確に身に付ける。 ・集団行動を通し、協力、責任、参画に対する意欲を高める。
	5月	
	6月 2 陸上競技	・体力を高め、自己の可能性に挑戦する楽しさを味わう。
	7月 3 球技Ⅰ	・バレーボール、バドミントンの中から選択して活動する。
	4 体育理論	・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について学ぶ。
2 学 期	8月 5 体づくり運動	・運動会の練習を行う中で、集団の中での協調性を養う。
	9月	
	10月 6 球技Ⅱ	・サッカー、バスケットボールの中から選択して活動する。
	7 体育理論	・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について学ぶ。
	12月	
3 学 期	1月 8 陸上競技	・長距離走を行うことにより、体力を高め、自己の記録に挑戦する楽しさを味わう。
	2月 9 球技Ⅱ	・サッカー、バスケットボールの中から選択して活動する。
	3月 10 体育理論	・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について学ぶ。

その他

保健体育

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	体育	単位数	2単位
学 科	農業科	学 年	2年
教科書	現代高等保健体育（大修館）	副教材	なし

学習目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり身に付ける。
------	--

評価		
評価の観点	評 価 規 準	評価方法
知識・技能	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	ルールテスト 審判の実技 スキルテスト 等
思考・判断・表現	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	グループ練習 準備・片付け状況 等
主体的に学習に取り組む態度	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。	ゲームの観察 準備・片付け状況 レポート等

	学 習 項 目		学習内容・学習のねらい
1 学 期	4月	1 体づくり運動	・ラジオ体操、補強運動や集団走を正確に身に付ける。 ・集団行動を通し、協力、責任、参画に対する意欲を高める。
	5月	2 陸上競技	・体力を高め、自己の可能性に挑戦する楽しさを味わう。
	6月		
	7月	3 球技Ⅰ	・ネット型、ゴール型の中から選択して活動する。
		4 体育理論	・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について学ぶ。
2 学 期	8月	5 体づくり運動	・運動会の練習を行う中で、集団の中での協調性を養う。
	9月	6 球技Ⅱ	・ネット型、ゴール型の中から選択して活動する。
	10月		
	11月		
	12月	7 体育理論	・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について学ぶ。
3 学 期	1月	8 陸上競技	・長距離走を行うことにより、体力を高め、自己の記録に挑戦する楽しさを味わう。
	2月	9 球技Ⅱ	・サッカー、バスケットボールの中から選択して活動する。
	3月	10 体育理論	・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について学ぶ。

その他	
-----	--

保健体育

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	体育	単位数	3単位
学 科	農業科	学 年	3年
教科書	現代高等保健体育（大修館）	副教材	なし

学習 目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり身に付ける。
----------	--

評価		
評価の観点	評 価 規 準	評価方法
知識・技能	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	ルールテスト 審判の実技 スキルテスト 等
思考・判断・表現	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	グループ練習 準備・片付け状況 等
主体的に学習に取り組む態度	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する。一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。	ゲームの観察 準備・片付け状況 レポート等

	学 習 項 目		学習内容・学習のねらい
1 学 期	4月	1 体づくり運動	・ラジオ体操、補強運動や集団走を正確に身に付ける。 ・集団行動を通し、協力、責任、参画に対する意欲を高める。
	5月	2 陸上競技	・体力を高め、自己の可能性に挑戦する楽しさを味わう。
	6月		
	7月	3 球技Ⅰ	・ネット型、ゴール型の中から選択して活動する。
2 学 期		4 体育理論	・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について学ぶ。
	8月	5 体づくり運動	・運動会の練習を行う中で、集団の中での協調性を養う。
	9月	6 球技Ⅱ	・ネット型、ゴール型の中から選択して活動する。
	10月		
	11月		
3 学 期	12月	7 体育理論	・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について学ぶ。
	1月	8 球技Ⅱ	・ゴール型、ネット型の種目から選択して活動する。
	2月	10 体育理論	・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について学ぶ。
	3月		

その他	
-----	--

保健体育

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	保健	単位数	1 単位
学 科	農業科	学 年	1 年
教科書	現代高等保健体育改訂版（大修館）	副教材	現代高等保健体育改訂版ノート

学習目標	「現代社会と健康」では、健康の考え方、現代の感染症とその予防、生活習慣病などの予防と回復、喫煙、薬物乱用と健康、精神疾患の予防と回復について、「安全な社会生活」では、安全な社会づくり、応急手当について理解するとともに、課題を見つけ、その解決に向けて考え、表現できるようになる。
------	--

評価		
評価の観点	評 価 規 準	評価方法
知識・技能	個人生活および社会生活における健康・安全に関する諸問題について理解し、技能を習得している。	・定期考査の成績 ・授業への取組 ・実習での取組 ・ノート・レポートの提出状況
思考・判断・表現	個人生活や社会生活における健康・安全について、課題を見つけ、その解決をめざして適切な方法や解決方法を考え、表現している。	・定期考査 ・授業への取組 ・実習での取組 ・ノート・レポートの提出状況
主体的に学習に取り組む態度	個人生活や社会生活における健康・安全について関心を持ち、学習に進んで取り組んでいる。	・授業への取組 ・実習での取組 ・ノート・レポートの提出状況

学 習 項 目		学習内容・学習のねらい	
現代社会と健康			
1 学期	4月	1. 健康の考え方と成り立ち	・わが国の現在の健康水準や健康問題の変化、および今日の健康課題について学ぶ。健康の成立要因をふまえて、自分なりの健康の捉え方について考える。
		2. 私たちの健康のすがた	
	5月	3. 生活習慣病の予防と回復	・生活習慣病の種類とその要因について学ぶとともに、予防、早期発見、個人や社会の対策について考える。 ・わが国の死因の第1位となっているがんについて、その種類、原因、予防、治療について学ぶとともに、社会的対策の現状と必要性について考える。
		4. がんの原因と予防	
		5. がんの治療と回復	
	6月	6. 運動と健康	・運動、食事、休養・睡眠といった生活習慣が、生活習慣病の予防をはじめ、健康の保持増進に大きく関与していることを学ぶとともに、人々が適切なライフスタイルを身につけるための対策を考える。
		7. 食事と健康	
		8. 休養・睡眠と健康	
7月	9. 喫煙と健康	・喫煙、飲酒、薬物乱用が心身にもたらす健康問題と社会問題について学ぶとともに、それらの問題を改善するための、個人や社会の対策について考える。	
2 学期	9月	10. 飲酒と健康	・おもな精神疾患と要因、予防と治療、また精神保健の今日的課題について学ぶとともに、精神疾患の適切なケアのための社会環境について考える。
		11. 薬物乱用と健康	
	10月	12. 精神疾患の特徴	
		13. 精神疾患の予防	
		14. 精神疾患からの回復	
	11月	15. 現代の感染症	・健康の保持増進のための意思決定・行動選択の重要性と影響する要因について学び、よりよい意思決定・行動選択の方法や工夫の仕方について学ぶ。また、健康づくりには、ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりが重要であることを学ぶ。
		16. 感染症の予防	
		17. 性感染症・エイズとその予防	
		12月	
19. 健康に関する環境づくり			
安全な社会生活			
3 学期	1月	1. 事故の現状と発生要因	・わが国の不慮の事故の実態と事故発生に関連する要因について学ぶとともに、安全な社会を形成するための個人や社会の対策について考える。また、交通事故の防止の観点から、運転者の責任、個人や社会の対策について考える。
		2. 安全な社会の形成	
	2月	3. 交通における安全	・けがや急病に対する応急手当の意義や方法について学び、日常的な応急手当ができるようにする。また、心肺停止状態の人の命を救うために行う心肺蘇生法の意義と方法を学び、実習を通して正しく実施できるようにする。
		4. 応急手当の意義とその基本	
	3月	5. 日常的な応急手当	
		6. 心肺蘇生法	

その他	
-----	--

保健体育

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	保健	単位数	1単位
学 科	農業科	学 年	2年
教科書	現代高等保健体育（大修館）	副教材	現代高等保健体育ノート

学習目標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。
------	---

評価		
評価の観点	評 価 規 準	評価方法
知識・技能	生涯を通じる健康や健康を支える環境づくりについて理解している。	・定期考査の成績 ・授業への取組 ・実習での取組 ・ノート・レポートの提出状況
思考・判断・表現	生涯を通じる健康や健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現している。	・定期考査 ・授業への取組 ・実習での取組 ・ノート・レポートの提出状況
主体的に学習に取り組む態度	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。	・授業への取組 ・実習での取組 ・ノート・レポートの提出状況

学 習 項 目		学習内容・学習のねらい
1 学 期	現代社会と健康	
	4月 1. ライフステージと健康	・ライフステージと健康の関連について説明できる。 ・各ライフステージで活用できる社会からの支援について例をあげることができる。
	2. 思春期と健康	・思春期における体の変化を女性と男性に分けて説明できる。 ・思春期の心の発達にかかわって起こる問題について例をあげることができる。
	5月 3. 性意識と性行動の選択	・性意識の男女差について例をあげて説明できる。 ・性情報が性行動の選択に影響を及ぼす例をあげることができる。
	4. 妊娠・出産と健康	・妊娠・出産の過程における健康問題について説明できる。 ・妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスの例をあげることができる。
	5. 避妊法と人工妊娠中絶	・家族計画の意義と適切な避妊法について説明できる。 ・人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について説明できる。
	6. 結婚生活と健康	・心身の発達と結婚生活の関係について説明できる。 ・結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動をあげることができる。
	7. 中高年基と健康	・加齢にともなう心身の変化について例をあげて説明できる。 ・高齢社会に必要な社会的な取り組みについて例をあげて説明できる。
2 学 期	7月 8. 働くことと健康	・働くことの意義と健康とのかかわりについて説明できる。 ・働き方や働く人健康問題の変化について説明できる。
	9月 9. 労働災害と健康	・労働災害の種類とその原因について例をあげて説明できる。 ・労働災害を防止するために必要なことを上げることができる。
	10. 健康的な職業生活	・職場がおこなう健康に関する取り組みについて例をあげて説明できる。 ・余暇を積極的にとることの意義について説明できる。
	健康を支える環境づくり	
	10月 1. 大気汚染と健康	・大気汚染の健康被害について例をあげて説明できる。 ・大気にかかわる地球規模の健康問題について例をあげて説明できる。
	5. 食品の安全性	・食品の安全性と健康とのかかわりについて説明できる。
	6. 食品衛生にかかわる活動	・食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割について説明できる。
	11月 2. 水質汚濁、土壌汚染と健康	・水質汚濁、土壌汚染の原因とその健康影響を説明できる。 ・大気・水・土壌にまたがる複合的な環境汚染の発生のしくみについて説明できる。
	3. 環境と健康にかかわる対策	・環境汚染による健康被害を防ぐ方法について説明できる。
	4. ごみの処理と上下水道の整備	・ごみの処理の現状やその課題について説明できる。 ・上下水道のしくみと健康にかかわる課題を説明できる。
3 学 期	12月 7. 保健サービスとその活用	・保健行政の役割について例をあげて説明できる。 ・保健サービスの活用の例をあげることができる。
	1月 8. 医療サービスとその活用	・わが国における医療保険の仕組みについて説明できる。 ・さまざまな医療機関の役割について説明できる。
	9. 医薬品の制度とその活用	・医薬品の正しい使用法について説明できる。 ・医薬品の安全性を守る取り組みについて例をあげて説明できる。
	2月 10. さまざまな保健活動や社会的対策	・国際機関・民間機関などの保健活動について例をあげて説明できる。 ・行政機関による社会的対策について例をあげて説明できる。
その他	3月 11. 健康に関する環境づくりと社会参加	・健康の保持増進のための環境づくりについて説明できる。 ・環境づくりへの主体的な参加が自他の健康づくりにつながることを説明できる。